別紙

○評価項目及び評価基準表

評価項目	評価基準
キャッチフレーズの作成 （10点）	□見た人の記憶に残りやすく、また、投票意欲を喚起するようなフレーズが考えられているか【10点】
啓発動画の制作 （20点）	□動画について、選挙名、投票日及び期日前投票が周知されており、積極的に呼びかける内容・構成となっているか【15点】 □配信する媒体を考慮した動画の構成になっているか【5点】
インターネットを活用した啓発の実施 （15点）	□特に若年層を中心としたより多くの市民に見てもらえるような媒体が選定されているか【10点】 □適切な目標値が設定されているか【5点】
デジタルサイネージや街頭ビジョン等を活用した啓発の実施 （15点）	□全世代に向けて広く選挙名や投票日が周知できるよう、効果的な設置場所や媒体の選定がなされているか【15点】
啓発物品のデザイン・制作 （5点）	□市民が手に取りやすく、また、街頭啓発等で配布することを考慮した物品の選定がなされているか【5点】
大学生をターゲットとする啓発の実施 （15点）	□大学生のライフスタイルを踏まえ、投票意欲を強く喚起し、投票を「自分ごと」として捉えられるような効果的な啓発事業となっているか【15点】
独自提案 （10点）	□本業務の目的が達成可能な独自の提案があるか【10点】
実施体制等 （10点）	□他自治体や民間企業等からの類似業務委託を受け、適正に履行した実績があるか。【5点】 □業務実施に十分な体制（人員、連絡体制等）が組まれているか【5点】

※各項目内に記載している点数は審査委員１人あたりの持ち点（100点）である。